



▲教育懇談会のようす（写真は白石小学校区）

**タツプリほめる。
シツカリしかる。**



いいたてっネ
夢づくり構想

教育のページ

教育懇談会

教育委員会（佐藤隆明委員長）では、村民や保護者の意見を教育行政に反映させるため、初めての試みとして教育懇談会を開催しました。

懇談会は11月7日に白石小学校区（白石集会所）、9日に草野小学校区（飯館村公民館）、14日に飯樋小学校区（飯樋町集会所）を対象に、それぞれ開かれました。

懇談会では始めに事務局から村の学校教育や社会教育の現状について説明した後、佐藤委員長が座長となって懇談を進めました。

説明では、村の学力検査結果と生活習慣の関係や生徒指導の状況などを報告しました。特に朝ごはんと学力の関係が重要であるとの報告に、出席者からは「家庭教育が大事（飯樋）」「朝食は大切だ」という意識を向上させる教育をしてほしい（白石）などの意見が出されました。

また、出席した各学校の校長からも「夢を実現するという意識が大切」「当たり前のことが当たり前前にはできない子どもにしたい」「小・中学校の連携が重要」などの報告がありました。

参加者からは、「子どもの特性を生かした指導をしてほしい（草野）」「地域の子どもは地域で守るべき（飯樋）」「今は『核家族』ではなく『殻（から）家族』になっているのではなにか。もっと地域との関わりを見直すべき（白石）」などの活発な意見が出されました。

佐藤委員長は「学校、家庭、地域が共に子どもを育てる『共育』が教育の改善につながる。今後ともみなさんの協力をお願いしたい」と話していました。

村では『早寝・早起き朝ごはん』、『タツプリほめる、シツカリしかる活動』、『あいさつ運動』を推進することで、子どもの学力向上と生活習慣改善につなげたいと考えており、家庭での協力を呼びかけています。

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

あいさつ

飯館村が文部科学省から「生徒指導推進地区」の指定を受けたことは既にご承知のことと思います。この事業の一つとして、今、各学校が「あいさつ運動」に取り組んでいます。

皆さんのご家庭では、朝「おはようございます」というあいさつが飛び交っているでしょうか。特に、親同士（夫と妻）が朝のあいさつをはっきりとしているでしょうか。

あいさつも親の子に対する「しつけ」によって身につきます。このしつけのコツは、夫でも妻でも、相手の顔を見たら競争してでも相手より先にあいさつをするようにすることです（ちなみに、すぐれた先生はいつも子どもより先にあいさつをします）。

親がすることを子どもは必ず真似します。朝、夫婦があいさつを交わし合うと、子どもも必ずあいさつをするようになるはずです。あいさつのような些細なことの徹底が、親や家族、人を大切にする子どもに育てます。「凡事徹底」は子どもに豊かな人生を保証します。

飯館中学校および相農飯館分校
スクールカウンセラー

海野 和夫